



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月7日

上場会社名 ニッシン債権回収株式会社 上場取引所 東証マザーズ
 コード番号 8426 URL <http://www.nissin-servicer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員 (氏名) 合田益己
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼執行役員経営管理部長 (氏名) 山口達也 TEL (03)5326-3971(代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期(当期)純利益 | |
|-------------|--------|---------|-------|---------|-------|---------|------------|---------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 20年3月期第1四半期 | 11,631 | (247.6) | 1,983 | (86.2) | 1,688 | (69.0) | 993 | (74.0) |
| 19年3月期第1四半期 | 3,346 | (18.3) | 1,065 | (154.6) | 998 | (202.5) | 571 | (199.8) |
| 19年3月期 | 31,690 | | 6,048 | | 5,192 | | 2,711 | |

| | 1株当たり 四半期(当期)純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益 | |
|-------------|---------------------|----|--------------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 20年3月期第1四半期 | 915 | 99 | 913 | 82 |
| 19年3月期第1四半期 | 529 | 83 | 524 | 97 |
| 19年3月期 | 2,509 | 80 | 2,493 | 83 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|--|--------|--|--------|-------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 20年3月期第1四半期 | 57,520 | | 10,194 | | 15.8 | 8,399 | 67 | |
| 19年3月期第1四半期 | 40,704 | | 6,801 | | 16.7 | 6,293 | 22 | |
| 19年3月期 | 62,470 | | 9,758 | | 13.7 | 7,895 | 48 | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | | 投資活動による キャッシュ・フロー | | 財務活動による キャッシュ・フロー | | 現金及び現金同等物 期末残高 | |
|-------------|----------------------|--|----------------------|--|----------------------|--|-------------------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | | 百万円 | |
| 20年3月期第1四半期 | 5,271 | | 497 | | △5,407 | | 5,752 | |
| 19年3月期第1四半期 | △1,651 | | 1,738 | | 1,130 | | 3,480 | |
| 19年3月期 | △14,711 | | 960 | | 16,663 | | 5,390 | |

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | | |
|------------|----------|----|-----|----|-----|----|
| | 中間期末 | | 期末 | | 年間 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 19年3月期 | 365 | 00 | 400 | 00 | 765 | 00 |
| 20年3月期 | — | — | — | — | 830 | 00 |
| 20年3月期(予想) | 415 | 00 | 415 | 00 | | |

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----|--------|--------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 中間期 | 18,900 | (56.5) | 2,900 | (△10.1) | 2,100 | (△29.6) | 1,200 | (△16.8) | 1,106 | 68 |
| 通期 | 30,600 | (△3.4) | 6,800 | (12.4) | 5,200 | (0.2) | 3,000 | (11.0) | 2,766 | 71 |

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注)詳細は、15ページ「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。〕

(4) 会計監査人の関与 : 有

四半期財務諸表については、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく意見表明のための手続きを受けております。

5. 個別業績の概要（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期(当期)純利益 | |
|-------------|--------|---------|-------|----------|-------|----------|------------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 20年3月期第1四半期 | 3,233 | (10.3) | 627 | (△20.7) | 622 | (△25.5) | 369 | (△25.0) |
| 19年3月期第1四半期 | 2,930 | (79.6) | 791 | (381.4) | 835 | (533.8) | 492 | (543.3) |
| 19年3月期 | 12,025 | | 1,368 | | 2,208 | | 1,266 | |

| | 1株当たり四半期(当期)純利益 | |
|-------------|-----------------|----|
| | 円 | 銭 |
| 20年3月期第1四半期 | 340 | 45 |
| 19年3月期第1四半期 | 456 | 78 |
| 19年3月期 | 1,172 | 15 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|--|-------|--|--------|--|----------|----|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 20年3月期第1四半期 | 49,845 | | 5,900 | | 11.6 | | 5,330 | 53 |
| 19年3月期第1四半期 | 37,250 | | 5,449 | | 14.6 | | 5,042 | 57 |
| 19年3月期 | 55,257 | | 5,965 | | 10.6 | | 5,395 | 92 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えて下さい。なお、上記予想の前提条件等に関しましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報及び[将来予測に関する記述について]をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

①経営成績

当第1四半期連結会計期間の営業収益につきましては、大型案件の回収進捗等により買取債権回収高は9,834百万円（前年同期比232.6%増）、買取不動産売却高は953百万円、債権共同買取業務等によるその他収入は843百万円（同141.3%増）となり、合計では11,631百万円（同247.6%増）となりました。

営業費用につきましては、大型案件の回収進捗による影響を主要因に債権回収原価は7,316百万円（前年同期比353.2%増）、不動産売却に伴う買取不動産売却原価は784百万円となり、その他129百万円を合わせ、合計では8,230百万円（同396.3%増）となりました。この結果、営業総利益は3,400百万円（同101.5%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給料手当170百万円（前年同期比21.9%増）、貸倒関連費用351百万円（同52.3%増）、債権回収費用415百万円等を計上し、合計1,417百万円（同127.7%増）となりました。この結果、営業利益は1,983百万円（同86.2%増）となりました。

営業外収益は14百万円となり、営業外費用は主に資金調達の拡大に伴う支払利息304百万円（前年同期比124.8%増）等により、合計で309百万円（同116.2%増）となりました。この結果、経常利益は1,688百万円（同69.0%増）となりました。

また、特別利益5百万円、法人税関連費用656百万円（前年同期比53.4%増）、少数株主利益44百万円の計上により、第1四半期純利益は993百万円（同74.0%増）となりました。

②営業等の状況

当第1四半期連結会計期間の債権買取額（投資額）は2,760百万円（前年同期比216.0%増）、買取債権（残高）は26,812百万円（同16.2%増）となりました。また不動産買取額（投資額）は475百万円（同65.5%減）、買取不動産（残高）は19,240百万円（同157.7%増）となりました。

・債権買取額及び不動産買取額

| 区分 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) | |
|--------|---|-------|---|-------|--|-------|
| | 金額(百万円) | 比率(%) | 金額(百万円) | 比率(%) | 金額(百万円) | 比率(%) |
| 債権買取額 | 873 | 38.8 | 2,760 | 85.3 | 19,564 | 48.8 |
| 不動産買取額 | 1,377 | 61.2 | 475 | 14.7 | 20,503 | 51.2 |
| 合計 | 2,251 | 100.0 | 3,236 | 100.0 | 40,067 | 100.0 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

・買取債権の推移

| 当第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | | | | | |
|---|----------------|----------------|----------------|--------------|---------------|
| 期首残高 (百万円) | 当期増加額 | 当期減少額 | | | 期末残高 (百万円) |
| | 当期買取額 (百万円) | 当期回収額 (百万円) | 貸倒償却額 (百万円) | その他 (百万円) | |
| 31,508 | 2,760 | 7,316 | 66 | 73 | 26,812 |

(注) 1 当期減少額その他は、不動産担保付債権の自己競落等による減少額等であります。
2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

・営業収益の内訳

| 区分 | 前第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | | 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) | |
|----------|---|--------|---|--------|--|--------|
| | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 営業収益 | 3,346 | 100.0 | 11,631 | 100.0 | 31,690 | 100.0 |
| 買取債権回収高 | 2,956 | 88.4 | 9,834 | 84.5 | 18,789 | 59.3 |
| 買取不動産売却高 | 39 | 1.2 | 953 | 8.2 | 10,678 | 33.7 |
| 受託手数料 | 54 | 1.6 | 18 | 0.2 | 107 | 0.3 |
| その他 | 294 | 8.8 | 824 | 7.1 | 2,115 | 6.7 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、57,520百万円（前連結会計年度末比7.9%減）であり、このうち買取債権は26,812百万円（同14.9%減）、これに伴う貸倒引当金は2,931百万円（同10.8%増）となりました。また、買取不動産は19,240百万円（同1.0%減）となりました。

負債合計は47,325百万円（前連結会計年度末比10.2%減）であり、このうちの主なものは、社債、長期借入金及び短期借入金の有利子負債44,919百万円（同9.9%減）であり、総資産有利子負債比率は78.1%となりました。

資本金及び資本剰余金が、新株予約権行使による株式の発行によりそれぞれ2百万円増加し、利益剰余金が、前事業年度に係る期末配当により433百万円減少し、第1四半期純利益の計上により993百万円増加したことなどから、株主資本は9,127百万円となりました。また、新株予約権108百万円、少数株主持分959百万円を合わせて純資産額は10,194百万円となりました。なお、自己資本比率は15.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ361百万円増加し、5,752百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間末における営業活動による資金の増加は5,271百万円（前年同期は1,651百万円の減少）となりました。これは、主に税金等調整前第1四半期純利益が1,694百万円（同年同期比695百万円増）、買取債権に係る資金の純増額が4,556百万円（前年同期は740百万円の純増）、買取不動産に係る資金の純増額が227百万円（同1,340百万円の純減）、法人税等の支払額が1,288百万円（前年同期比72百万円減）となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間末における投資活動による資金の増加は497百万円（前年同期は1,738百万円の増加）となりました。これは、主に投資有価証券に係る資金の純増額が1,406百万円となったものの、匿名組合出資金に係る資金の純減額が226百万円（同1,976百万円の純増）、貸付による支出が693百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間末における財務活動による資金の減少は5,407百万円（前年同期は1,130百万円の増加）となりました。これは、主に短期借入金の純減額が2,906百万円（同1,181百万円の純増）、長期借入金の純減額が2,011百万円（同36百万円の純減）となったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しているため、平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の連結業績予想（中間・通期）の修正はありません。

なお、連結業績予想につきましては、下記の項目を主な前提条件として予想しております。

- ・金融機関等開催の不良債権売却入札への一定数の入札指名の獲得及びその落札率の維持
- ・他の投資家との債権共同買取業務並びに不動産関連業務の拡大
- ・債権及び不動産買取（投資）拡大に対応した資金調達の実施

[将来予測に関する記述について]

本資料には、当社グループの意図、信念、現在及び将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在及び将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績は様々な要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご注意ください。

実際の業績に影響を与えうる潜在的なリスクや不確実性を伴う要因には、以下のようなものが含まれます。

- ・日本国内の経済環境の回復に伴う不良債権の流動化市場の収縮
- ・競争激化による特定金銭債権の買取価格の水準の高騰及び受託手数料の低下による利益率の下落
- ・回収期間の長期化による収益性の悪化
- ・債権管理回収業に関する特別措置法の改正
- ・好条件での資金調達先の有無及び金融政策等の変更による影響
- ・親会社であるNISグループ㈱の事業戦略及び経営成績等
- ・当社の利用する情報、基幹システム及びネットワークシステムの信頼性

ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではなく、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響等によって、新たなリスクや不確実な要素が発生する可能性があります。

4 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間末 (平成19年6月30日) | | 前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年3月31日) | | |
|------------|----------|-------------------------------|------------|-------------------------------|------------|---------------------------------------|------------|--|
| | | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | |
| (資産の部) | | | | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | | | | |
| 1 現金及び預金 | ※2 | 4,031 | | 6,048 | | 5,750 | | |
| 2 買取債権 | ※2 | 23,071 | | 26,812 | | 31,508 | | |
| 3 買取不動産 | ※2 | 7,465 | | 19,240 | | 19,439 | | |
| 4 繰延税金資産 | | 552 | | 1,089 | | 892 | | |
| 5 その他 | | 850 | | 1,357 | | 755 | | |
| 貸倒引当金 | | △1,799 | | △2,931 | | △2,645 | | |
| 流動資産合計 | | 34,172 | 84.0 | 51,617 | 89.7 | 55,700 | 89.2 | |
| II 固定資産 | | | | | | | | |
| 1 有形固定資産 | ※1 | 29 | | 31 | | 30 | | |
| 2 無形固定資産 | | 7 | | 8 | | 8 | | |
| 3 投資その他の資産 | | | | | | | | |
| (1) 出資金 | | 5,756 | | 4,448 | | 4,327 | | |
| (2) その他 | | 738 | | 1,415 | | 2,402 | | |
| 投資その他の資産合計 | | 6,494 | | 5,863 | | 6,729 | | |
| 固定資産合計 | | 6,531 | 16.0 | 5,903 | 10.3 | 6,769 | 10.8 | |
| 資産合計 | | 40,704 | 100.0 | 57,520 | 100.0 | 62,470 | 100.0 | |

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日) | | 当第1四半期連結会計期間末 (平成19年6月30日) | | 前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年3月31日) | | |
|--------------------|----------|-------------------------------|------------|-------------------------------|------------|---------------------------------------|------------|--|
| | | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | |
| (負債の部) | | | | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | | | | |
| 1 短期借入金 | ※2 | 9,472 | | 11,264 | | 14,171 | | |
| 2 1年内返済予定 長期借入金 | ※2 | 9,767 | | 13,413 | | 13,412 | | |
| 3 1年内償還予定社債 | | 60 | | 160 | | 160 | | |
| 4 未払法人税等 | | 269 | | 866 | | 1,309 | | |
| 5 賞与引当金 | | 23 | | 32 | | — | | |
| 6 役員賞与引当金 | | 2 | | 3 | | 19 | | |
| 7 その他 | | 645 | | 1,502 | | 1,545 | | |
| 流動負債合計 | | 20,241 | 49.7 | 27,244 | 47.4 | 30,617 | 49.0 | |
| II 固定負債 | | | | | | | | |
| 1 社債 | | 90 | | 380 | | 380 | | |
| 2 長期借入金 | ※2 | 13,571 | | 19,700 | | 21,713 | | |
| 3 その他 | | 0 | | 0 | | 1 | | |
| 固定負債合計 | | 13,661 | 33.6 | 20,081 | 34.9 | 22,094 | 35.4 | |
| 負債合計 | | 33,903 | 83.3 | 47,325 | 82.3 | 52,711 | 84.4 | |
| (純資産の部) | | | | | | | | |
| I 株主資本 | | | | | | | | |
| 1 資本金 | | 1,719 | | 1,733 | | 1,731 | | |
| 2 資本剰余金 | | 1,506 | | 1,519 | | 1,517 | | |
| 3 利益剰余金 | | 3,575 | | 5,873 | | 5,313 | | |
| 株主資本合計 | | 6,801 | 16.7 | 9,127 | 15.8 | 8,561 | 13.7 | |
| II 評価・換算差額等 | | | | | | | | |
| 1 繰延ヘッジ損益 | | △0 | | △0 | | △0 | | |
| 評価・換算差額等合計 | | △0 | △0.0 | △0 | △0.0 | △0 | △0.0 | |
| III 新株予約権 | | — | — | 108 | 0.2 | 114 | 0.2 | |
| IV 少数株主持分 | | — | — | 959 | 1.7 | 1,082 | 1.7 | |
| 純資産合計 | | 6,801 | 16.7 | 10,194 | 17.7 | 9,758 | 15.6 | |
| 負債及び純資産合計 | | 40,704 | 100.0 | 57,520 | 100.0 | 62,470 | 100.0 | |

(2) 四半期連結損益計算書

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | | | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | | | 前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) | | |
|----------------------------|----------|---|-------|------------|---|--------|------------|--|--------|------------|
| | | 金額(百万円) | | 百分比 (%) | 金額(百万円) | | 百分比 (%) | 金額(百万円) | | 百分比 (%) |
| I 営業収益 | | | | | | | | | | |
| 1 買取債権回収高 | | 2,956 | | | 9,834 | | | 18,789 | | |
| 2 買取不動産売却高 | | 39 | | | 953 | | | 10,678 | | |
| 3 その他 | | 349 | 3,346 | 100.0 | 843 | 11,631 | 100.0 | 2,222 | 31,690 | 100.0 |
| II 営業費用 | | | | | | | | | | |
| 1 債権回収原価 | | 1,614 | | | 7,316 | | | 12,844 | | |
| 2 買取不動産売却原価 | | 38 | | | 784 | | | 8,521 | | |
| 3 その他原価 | | 5 | 1,658 | 49.6 | 129 | 8,230 | 70.8 | 88 | 21,454 | 67.7 |
| 営業総利益 | | | 1,687 | 50.4 | | 3,400 | 29.2 | | 10,235 | 32.3 |
| III 販売費及び一般管理費 | ※1 | | 622 | 18.6 | | 1,417 | 12.1 | | 4,187 | 13.2 |
| 営業利益 | | | 1,065 | 31.8 | | 1,983 | 17.1 | | 6,048 | 19.1 |
| IV 営業外収益 | | | | | | | | | | |
| 1 受取利息 | | 4 | | | 9 | | | 18 | | |
| 2 匿名組合出資収益 | | 57 | | | 1 | | | 78 | | |
| 3 持分法による投資利益 | | 13 | | | — | | | 11 | | |
| 4 その他 | | 1 | 76 | 2.3 | 2 | 14 | 0.1 | 6 | 114 | 0.4 |
| V 営業外費用 | | | | | | | | | | |
| 1 支払利息 | | 134 | | | 304 | | | 912 | | |
| 2 社債利息 | | 0 | | | — | | | — | | |
| 3 新株発行費 | | 4 | | | — | | | — | | |
| 4 その他 | | 3 | 143 | 4.3 | 4 | 309 | 2.7 | 59 | 971 | 3.1 |
| 経常利益 | | | 998 | 29.8 | | 1,688 | 14.5 | | 5,192 | 16.4 |
| VI 特別利益 | | | | | | | | | | |
| 1 新株予約権戻入益 | | — | — | — | 5 | 5 | 0.1 | 5 | 5 | 0.0 |
| VII 特別損失 | | | | | | | | | | |
| 1 固定資産除却損 | | — | | | — | | | 2 | | |
| 2 投資有価証券評価損 | | — | | | — | | | 44 | 47 | 0.1 |
| 税金等調整前 第1四半期(当期) 純利益 | | | 998 | 29.8 | | 1,694 | 14.6 | | 5,150 | 16.3 |
| 法人税、住民税 及び事業税 | | 259 | | | 853 | | | 2,214 | | |
| 法人税等調整額 | | 167 | 427 | 12.8 | △197 | 656 | 5.7 | △236 | 1,978 | 6.2 |
| 少数株主利益 | | | — | — | | 44 | 0.4 | | 460 | 1.5 |
| 第1四半期(当期) 純利益 | | | 571 | 17.0 | | 993 | 8.5 | | 2,711 | 8.6 |

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

| | 株主資本 | | | | 評価・換算 差額等 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|--|-------|-------|-------|--------|--------------|--------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 | 繰延ヘッジ損益 | | |
| 平成18年3月31日 現在(百万円) | 1,695 | 1,481 | 3,472 | 6,649 | — | — | 6,649 |
| 第1四半期連結会計 期間中の変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | 24 | 24 | — | 49 | — | — | 49 |
| 剰余金の配当(注) | — | — | △439 | △439 | — | — | △439 |
| 役員賞与(注) | — | — | △28 | △28 | — | — | △28 |
| 第1四半期純利益 | — | — | 571 | 571 | — | — | 571 |
| 株主資本以外の項目の第1四半期連 結会計期間中の変 動額(純額) | — | — | — | — | △0 | — | △0 |
| 第1四半期連結会計 期間中の変動額合計 (百万円) | 24 | 24 | 102 | 152 | △0 | — | 151 |
| 平成18年6月30日 残高(百万円) | 1,719 | 1,506 | 3,575 | 6,801 | △0 | — | 6,801 |

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当第1四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

| | 株主資本 | | | |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | 1,731 | 1,517 | 5,313 | 8,561 |
| 第1四半期連結会計期間中の変動額 | | | | |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | 2 | 2 | — | 5 |
| 剰余金の配当 | — | — | △433 | △433 |
| 第1四半期純利益 | — | — | 993 | 993 |
| 株主資本以外の項目の第1四半期連 結会計期間中の変動額(純額) | — | — | — | — |
| 第1四半期連結会計期間中の変動額合計 (百万円) | 2 | 2 | 560 | 565 |
| 平成19年6月30日残高(百万円) | 1,733 | 1,519 | 5,873 | 9,127 |

| | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|------------------------------------|-------------|----------------|-------|--------|--------|
| | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | | | |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | △0 | △0 | 114 | 1,082 | 9,758 |
| 第1四半期連結会計期間中の変動額 | | | | | |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | — | — | — | — | 5 |
| 剰余金の配当 | — | — | — | — | △433 |
| 第1四半期純利益 | — | — | — | — | 993 |
| 株主資本以外の項目の第1四半期連 結会計期間中の変動額(純額) | 0 | 0 | △5 | △123 | △128 |
| 第1四半期連結会計期間中の変動額合計 (百万円) | 0 | 0 | △5 | △123 | 436 |
| 平成19年6月30日残高(百万円) | △0 | △0 | 108 | 959 | 10,194 |

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

| | 株主資本 | | | |
|---------------------------|-------|-------|-------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 |
| 平成18年3月31日残高(百万円) | 1,695 | 1,481 | 3,472 | 6,649 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | 36 | 36 | — | 72 |
| 剰余金の配当(注) | — | — | △439 | △439 |
| 剰余金の配当(中間配当) | — | — | △394 | △394 |
| 役員賞与(注) | — | — | △28 | △28 |
| 当期純利益 | — | — | 2,711 | 2,711 |
| 関係会社増加に伴う利益剰余金増加高 | — | — | △7 | △7 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | — | — | — | — |
| 連結会計年度中の変動額合計(百万円) | 36 | 36 | 1,840 | 1,912 |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | 1,731 | 1,517 | 5,313 | 8,561 |

| | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|----------|------------|-------|--------|-------|
| | 繰延ヘッジ損益 | 評価・換算差額等合計 | | | |
| 平成18年3月31日残高(百万円) | — | — | — | — | 6,649 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | — | — | — | — | 72 |
| 剰余金の配当(注) | — | — | — | — | △439 |
| 剰余金の配当(中間配当) | — | — | — | — | △394 |
| 役員賞与(注) | — | — | — | — | △28 |
| 当期純利益 | — | — | — | — | 2,711 |
| 関係会社増加に伴う利益剰余金増加高 | — | — | — | — | △7 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | △0 | △0 | 114 | 1,082 | 1,196 |
| 連結会計年度中の変動額合計(百万円) | △0 | △0 | 114 | 1,082 | 3,109 |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | △0 | △0 | 114 | 1,082 | 9,758 |

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期連結会計期間 | 当第1四半期連結会計期間 | 前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 |
|------------------------|----------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | | (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) |
| | | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| I 営業活動による キャッシュ・フロー | | | | |
| 税金等調整前第1四半期(当期) 純利益 | | 998 | 1,694 | 5,150 |
| 減価償却費 | | 1 | 2 | 7 |
| 新株予約権戻入益 | | — | △ 5 | △ 5 |
| 貸倒引当金の増加額 | | 7 | 285 | 853 |
| 賞与引当金の増加額 | | 23 | 32 | — |
| 役員賞与引当金の増加額 (△は減少額) | | 2 | △ 15 | 19 |
| 受取利息 | | △ 4 | △ 9 | △ 18 |
| 支払利息及び社債利息 | | 135 | 304 | 912 |
| 匿名組合損益分配額 | | △ 274 | 103 | △ 1,018 |
| 投資事業組合損益分配額 | | — | △ 432 | — |
| 貸倒償却額 | | 223 | 66 | 830 |
| その他流動資産の減少額 (△は増加額) | | △ 214 | 63 | △ 42 |
| その他流動負債の増加額 (△は減少額) | | △ 241 | 5 | 299 |
| 為替差損益 | | 2 | — | △ 0 |
| 役員賞与の支払額 | | △ 28 | — | △ 28 |
| その他 | | △ 188 | 27 | △ 3 |
| 小計 | | 443 | 2,121 | 6,955 |
| 利息の受取額 | | 2 | 30 | 19 |
| 利息の支払額 | | △ 136 | △ 374 | △ 811 |
| 法人税等の支払額 | | △ 1,361 | △ 1,288 | △ 2,295 |
| 小計 | | △ 1,051 | 488 | 3,868 |
| 買取不動産の買取による支出 | ※ 2 | △ 1,379 | △ 525 | △ 20,375 |
| 買取不動産の売却による収入 | | 38 | 752 | 8,529 |
| 買取債権の買取による支出 | | △ 873 | △ 2,760 | △ 19,578 |
| 買取債権の回収による収入 | ※ 2 | 1,614 | 7,316 | 12,844 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | | △ 1,651 | 5,271 | △ 14,711 |

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期連結会計期間 | 当第1四半期連結会計期間 | 前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 |
|--------------------------------|----------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | | (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) |
| | | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) |
| II 投資活動による キャッシュ・フロー | | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | | △4 | △1 | △13 |
| 投資有価証券の取得による支出 | | — | △215 | △1,681 |
| 投資有価証券の持戻入による 収入 | | — | 1,621 | — |
| 匿名組合出資金の払込による支出 | | △9 | △658 | △1,407 |
| 匿名組合出資金の分配金受取 による収入 | | 1,985 | 432 | 4,228 |
| 関係会社への貸付による支出 | | △225 | △6 | △323 |
| 関係会社貸付金の回収による収入 | | — | 30 | 69 |
| 貸付による支出 | | — | △693 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社 出資持分の譲渡による支出 | | △1 | — | △1 |
| 出資金の戻入による収入 | | 2 | — | 2 |
| 敷金の増減 | | △8 | △10 | △42 |
| その他 | | — | △1 | 129 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | | 1,738 | 497 | 960 |
| III 財務活動による キャッシュ・フロー | | | | |
| 短期借入れによる収入 | | 2,500 | 2,340 | 21,740 |
| 短期借入金の返済による支出 | | △1,318 | △5,246 | △15,859 |
| 長期借入れによる収入 | | 3,350 | 1,550 | 23,222 |
| 長期借入金の返済による支出 | | △3,386 | △3,561 | △12,390 |
| 制限付預金の預入による支出 | | △1,064 | △776 | △3,482 |
| 制限付預金の払出による収入 | | 1,441 | 840 | 4,049 |
| 社債の発行による収入 | | — | — | 487 |
| 社債の償還による支出 | | — | — | △110 |
| 株式の発行による収入 | | 49 | 4 | 66 |
| 少数株主への匿名組合出資金 払戻等による支出 | | — | △166 | △228 |
| 配当金の支払額 | | △439 | △391 | △831 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | | 1,130 | △5,407 | 16,663 |
| IV 現金及び現金同等物の増加額 | | 1,216 | 361 | 2,912 |
| V 現金及び現金同等物の期首残高 | | 2,264 | 5,390 | 2,264 |
| VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物 の増加 | | — | — | 213 |
| VII 現金及び現金同等物の第1四半期末 (期末)残高 | | 3,480 | 5,752 | 5,390 |

(5) 注記事項

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|---------------|---|---|---|
| 1 連結の範囲に関する事項 | <p>子会社はすべて連結しております。</p> <p>① 連結子会社の数 7社</p> <p>② 連結子会社の名称 (有)ジェイ・ワン・インベストメンツ、(有)ミヤコキャピタル、(有)ジェイ・ツー・中国投資 その他4社</p> <p>なお、前連結会計年度まで連結範囲に含めていた(有)シー・エヌ・インベストメンツについては、出資持分の一部を譲渡したことにより持分比率が減少したため、持分法適用関連会社となっております。</p> | <p>子会社はすべて連結しております。</p> <p>① 連結子会社の数 19社</p> <p>② 連結子会社の名称 (有)ジェイ・ワン・インベストメンツ、(有)ミヤコキャピタル、(有)ジェイ・ツー・中国投資 その他16社</p> <p>なお、前連結会計年度まで連結範囲に含めていた(有)新日本創造ファンドは、匿名組合出資の払戻により支配力がなくなったため、連結の範囲から除外しております。</p> | <p>子会社はすべて連結しております。</p> <p>① 連結子会社の数 20社</p> <p>② 連結子会社の名称 (有)ジェイ・ワン・インベストメンツ、(有)ミヤコキャピタル、(有)ジェイ・ツー・中国投資 その他17社</p> <p>当連結会計年度に新たに設立した6社及び匿名組合の出資持分の過半数以上を取得した2社、また、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年9月8日実務対応報告第20号)の公表により、支配力基準の厳格化適用を行った投資事業組合等5社を合わせて計13社増加しております。</p> <p>なお、(有)シー・エヌ・インベストメンツについては、出資持分の一部を譲渡したことにより持分比率が減少したため、持分法適用関連会社となっております。</p> <p>(会計処理の変更)</p> <p>当連結会計年度より「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年9月8日実務対応報告第20号)を適用しております。</p> <p>この変更により、従来の方によった場合に比べ、総資産が269百万円、負債合計が13百万円、少数株主持分が263百万円増加し、株主資本合計が7百万円減少しております。また、営業収益が4,333百万円、営業利益が1,200百万円、経常利益及び税金等調整前当期純利益が446百万円、少数株主利益が449百万円増加し、当期純利益が2百万円減少しております。</p> |

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|---|---------|--------|---|-----|-----|---------|--------|---------|-------|--|-----|-----|---------|--------|---------|-------|
| 2 持分法の適用に関する事項 | <p>① 持分法を適用した関連会社数 6社</p> <p>② 関連会社の名称 (有)シー・エヌ・キャピタル、(有)シー・エヌ・ツー、(有)シー・エヌ・スリー、(有)シー・エヌ・フォー、三洋パシフィック投資顧問(株)、(有)シー・エヌ・インベストメンツ 前連結会計年度まで連結子会社でありました(有)シー・エヌ・インベストメンツは、出資持分を一部譲渡したことにより持分比率が減少したため、持分法適用関連会社となっております。また、(有)ニッシンメディカル・パートナーズは、事業終了に伴い清算結了したため関連会社ではなくなりました。 なお、(有)シー・エヌ・スリーは、シー・エヌ・スリー・インベストスターズLLCを通じて間接所有している会社ですが、影響力基準に基づいて持分法適用会社にしております。</p> <p>③ 連結決算日と異なる関連会社の持分法の適用については、12月31日を決算日とする(有)シー・エヌ・キャピタル及び(有)シー・エヌ・スリー並びに(有)シー・エヌ・フォーは、同社の第1四半期財務諸表を使用しております。5月31日を決算日とする(有)シー・エヌ・ツーは、同社の仮決算に係る財務諸表を使用しております。三洋パシフィック投資顧問(株)の決算日は3月31日であり、持分法の適用については同社の第1四半期財務諸表を使用しております。</p> | <p>① 持分法を適用した関連会社数 10社</p> <p>② 関連会社の名称 (有)シー・エヌ・キャピタル、(有)シー・エヌ・ツー、(有)シー・エヌ・スリー、(有)シー・エヌ・フォー、(有)シー・エヌ・インベストメンツ、ストラテック(株)、その他3社 なお、当第1四半期連結会計期間より持分法適用関連会社が1社増加しております。</p> <p>③ 連結決算日と異なる関連会社の持分法の適用については、12月31日または2月28日を決算日とする(有)シー・エヌ・キャピタル及び(有)シー・エヌ・スリー、(有)シー・エヌ・フォー、(有)シー・エヌ・インベストメンツ並びにその他3社は、同社の第1四半期財務諸表を使用しております。5月31日を決算日とする(有)シー・エヌ・ツーは、同社の仮決算に係る財務諸表を使用しております。</p> | <p>① 持分法を適用した関連会社数 9社</p> <p>② 関連会社の名称 (有)シー・エヌ・キャピタル、(有)シー・エヌ・ツー、(有)シー・エヌ・スリー、(有)シー・エヌ・フォー、(有)シー・エヌ・インベストメンツ、ストラテック(株)(旧社名三洋パシフィック投資顧問(株))、その他3社 なお、前連結会計年度まで連結子会社であった(有)シー・エヌ・インベストメンツは、出資持分を一部譲渡したことにより持分比率が減少したため持分法適用会社となり、この他設立による1社及び「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年9月8日実務対応報告第20号)の適用による持分法の適用会社の範囲の変更による2社の増加を合わせて計4社が当連結会計年度より、持分法適用会社となりました。 また、(有)ニッシンメディカル・パートナーズは、事業終了に伴い清算結了したため関連会社ではなくなりました。</p> <p>③ 連結決算日と異なる関連会社の持分法の適用については、12月31日を決算日とする(有)シー・エヌ・キャピタル及び(有)シー・エヌ・スリー、(有)シー・エヌ・フォー、(有)シー・エヌ・インベストメンツ並びにその他2社は、同社の決算に基づく財務諸表を使用しております。5月31日を決算日とする(有)シー・エヌ・ツーは、同社の仮決算に係る第3四半期財務諸表を使用しております。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 連結子会社の四半期決算日(決算日)等に関する事項 | <p>連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は、次のとおりであります。</p> <table border="1" data-bbox="359 1713 686 1780"> <thead> <tr> <th>会社名</th> <th>決算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連結子会社2社</td> <td>12月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、連結子会社2社については、同社の事業年度に係る第1四半期財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p> | 会社名 | 決算日 | 連結子会社2社 | 12月31日 | <p>連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は、次のとおりであります。</p> <table border="1" data-bbox="713 1713 1040 1803"> <thead> <tr> <th>会社名</th> <th>決算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連結子会社9社</td> <td>12月31日</td> </tr> <tr> <td>連結子会社3社</td> <td>2月28日</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、連結子会社については、同社の事業年度に係る第1四半期財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p> | 会社名 | 決算日 | 連結子会社9社 | 12月31日 | 連結子会社3社 | 2月28日 | <p>連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は、次のとおりであります。</p> <table border="1" data-bbox="1066 1713 1393 1803"> <thead> <tr> <th>会社名</th> <th>決算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連結子会社9社</td> <td>12月31日</td> </tr> <tr> <td>連結子会社3社</td> <td>2月28日</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、連結子会社については、同社の決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p> | 会社名 | 決算日 | 連結子会社9社 | 12月31日 | 連結子会社3社 | 2月28日 |
| 会社名 | 決算日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社2社 | 12月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会社名 | 決算日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社9社 | 12月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社3社 | 2月28日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会社名 | 決算日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社9社 | 12月31日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 連結子会社3社 | 2月28日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|----------------|---|--|---|
| 4 会計処理基準に関する事項 | <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>① 有価証券 その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>② デリバティブ 時価法</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>① 有形固定資産 定率法によっております。ただし建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております。</p> <p>② 無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>③ 長期前払費用 均等償却によっております。</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>② 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>③ 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> | <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>① 有価証券 その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法 なお、投資事業有限責任組合等への出資については組合の財産の持分相当額に基づき評価しております。</p> <p>② デリバティブ 同左</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>① 有形固定資産 定率法によっております。ただし建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております。 (会計処理の変更) 当第1四半期連結会計期間から、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降取得の有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。 なお、この変更による営業利益、経常利益、税金等調整前第1四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p> <p>② 無形固定資産 同左</p> <p>③ 長期前払費用 同左</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 同左</p> <p>② 賞与引当金 同左</p> <p>③ 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> | <p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>① 有価証券 その他有価証券 時価のないもの 同左</p> <p>② デリバティブ 同左</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>① 有形固定資産 定率法によっております。ただし建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております。</p> <p>② 無形固定資産 同左</p> <p>③ 長期前払費用 同左</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 同左</p> <p>② 賞与引当金 同左</p> <p>③ 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> |

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|----|---|--|---|
| | <p>(会計処理の変更)</p> <p>従来、役員賞与については、株主総会の利益処分に係る決議を経て、未処分利益の減少として処理しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成17年11月29日企業会計基準第4号)に基づき、発生した会計期間の費用として処理する方法に変更しております。</p> <p>この変更により、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前第1四半期純利益は、それぞれ2百万円減少しております。</p> <p>(4) 重要なリース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>(5) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>① ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>② ヘッジ手段と対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッジ手段 デリバティブ取引(金利スワップ取引) ・ヘッジ対象 市場金利等の変動によりキャッシュ・フローが変動するもの(変動金利の借入金) <p>③ ヘッジ方針 資金調達における金利の急激な変動が損益及びキャッシュ・フローに与える影響をヘッジすることを目的としております。</p> <p>④ ヘッジ有効性の評価方法 ヘッジ手段の指標金利とヘッジ対象の指標金利との変動幅等について、一定の相関性を判定することにより評価しております。</p> | <p>(4) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(5) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>① ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>② ヘッジ手段と対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッジ手段 同左 ・ヘッジ対象 同左 <p>③ ヘッジ方針 同左</p> <p>④ ヘッジ有効性の評価方法 同左</p> | <p>(会計処理の変更)</p> <p>従来、役員賞与については、株主総会の利益処分に係る決議を経て、未処分利益の減少として処理しておりましたが、当連結会計年度より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成17年11月29日企業会計基準第4号)に基づき、発生時の費用として処理する方法に変更しております。</p> <p>この変更により、従来の方法によった場合に比べ、販売費及び一般管理費が19百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益は、それぞれ同額減少しております。</p> <p>(4) 重要なリース取引の処理方法 同左</p> <p>(5) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>① ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>② ヘッジ手段と対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッジ手段 同左 ・ヘッジ対象 同左 <p>③ ヘッジ方針 同左</p> <p>④ ヘッジ有効性の評価方法 同左</p> |

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|---|--|--|--|
| | <p>(6) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項</p> <p>① 買取債権回収高及び債権回収原価の計上基準 買取債権回収高は、回収時に回収金額を計上しております。また、債権回収原価については、将来のキャッシュ・フローを見積もることが可能な債権を償却原価法によって算定し、見積もることが困難な債権を回収原価法によって算定しております。</p> <p>② 買取不動産の評価基準及び評価方法 買取債権の自己競落又は、債権管理回収業の一環として取得した買取不動産については、個別法による原価法によっております。</p> <p>なお、買取債権の自己競落により買取不動産を取得した際に発生する買取債権回収差益については、買取不動産売却時まで繰延処理しております。</p> <p>③ 消費税等の会計処理 税抜方式を採用しております。</p> <p>なお、控除対象外消費税等は全額当第1四半期連結会計期間の費用として処理しております。</p> | <p>(6) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項</p> <p>① 買取債権回収高及び債権回収原価の計上基準 同左</p> <p>② 買取不動産の評価基準及び評価方法 同左</p> <p>③ 消費税等の会計処理 同左</p> | <p>(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項</p> <p>① 買取債権回収高及び債権回収原価の計上基準 同左</p> <p>② 買取不動産の評価基準及び評価方法 同左</p> <p>③ 消費税等の会計処理 税抜方式を採用しております。</p> <p>なお、控除対象外消費税等は全額当連結会計年度の費用として処理しております。</p> |
| <p>5 四半期連結(連結)キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲</p> | <p>四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、要求払預金及び取得日から3ヵ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価格の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。</p> | <p>同左</p> | <p>連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、要求払預金及び取得日から3ヵ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価格の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。</p> |

(会計処理の変更)

| 前第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) |
|---|---|--|
| <p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)</p> <p>当第1四半期連結会計期間より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。</p> <p>なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は、6,801百万円であります。</p> <p>また、中間連結財務諸表規則の改正により、当第1四半期連結会計期間における四半期連結貸借対照表の純資産の部については、改正後の中間連結財務諸表規則により作成しております。</p> | <p>—————</p> <p>—————</p> | <p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等)</p> <p>当連結会計年度より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は、8,561百万円であります。</p> <p>また、連結財務諸表規則の改正により、当連結会計年度における連結貸借対照表の純資産の部については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。</p> <p>(繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い)</p> <p>当連結会計年度より「繰延資産の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年8月11日 実務対応報告第19号)を適用しております。</p> <p>(ストック・オプション等に関する会計基準等)</p> <p>当連結会計年度より「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準第8号)及び「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 最終改正平成18年5月31日 企業会計基準適用指針第11号)を適用しております。</p> <p>これにより、営業利益及び経常利益は120百万円、税金等調整前当期純利益が114百万円減少しております。</p> |

(表示方法の変更)

| 前第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) |
|---|--|
| | <p>当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。</p> <p>なお、比較を容易にするため、前第1四半期連結会計期間についても百万円単位に組替え表示しております。</p> <p>(四半期連結損益計算書)</p> <p>前第1四半期連結会計期間まで区分掲記しておりました「社債利息」(当第1四半期連結会計期間1百万円)は、金額的重要性が低いため、当第1四半期連結会計期間より営業外費用の「支払利息」に含めて表示しております。</p> |

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間末 (平成19年6月30日) | 前連結会計年度末 (平成19年3月31日) |
|---|--|--|
| ※1 有形固定資産の減価償却累計額 13百万円 | ※1 有形固定資産の減価償却累計額 18百万円 | ※1 有形固定資産の減価償却累計額 17百万円 |
| ※2 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 担保に供している資産 現金及び預金 550百万円 買取債権 366百万円 買取不動産 3,770百万円 合計 4,686百万円 上記に対応する債務 短期借入金 985百万円 1年内返済予定 1,556百万円 長期借入金 3,887百万円 合計 6,428百万円 | ※2 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 担保に供している資産 現金及び預金 296百万円 買取不動産 8,836百万円 合計 9,133百万円 上記に対応する債務 短期借入金 500百万円 1年内返済予定長期借入金 1,197百万円 長期借入金 8,408百万円 合計 10,106百万円 | ※2 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 担保に供している資産 現金及び預金 360百万円 買取不動産 8,578百万円 合計 8,939百万円 上記に対応する債務 短期借入金 500百万円 1年内返済予定長期借入金 1,125百万円 長期借入金 9,302百万円 合計 10,928百万円 なお、上記以外に兄弟会社NIS不動産(株)の金融機関からの借入金に対し買取不動産537百万円を担保に供しております。 |
| 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行及び親会社(株)ニッシンと当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越契約及び貸出コミットメントの総額 12,800百万円 借入実行金額 △9,720百万円 差引額 3,080百万円 | 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行及び親会社NISグループ(株)と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越契約及び貸出コミットメントの総額 15,100百万円 借入実行金額 △8,500百万円 差引額 6,600百万円 | 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行及び親会社NISグループ(株)(旧社名(株)ニッシン)と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越契約及び貸出コミットメントの総額 15,900百万円 借入実行金額 △11,650百万円 差引額 4,250百万円 |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|--|--|--|
| ※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 貸倒損失 0百万円 貸倒引当金繰入額 230百万円 役員報酬 17百万円 給料手当 139百万円 賞与引当金繰入額 23百万円 役員賞与引当金繰入額 2百万円 法定福利費 17百万円 福利厚生費 1百万円 租税公課 35百万円 債権買取費用 7百万円 減価償却費 1百万円 賃借料 29百万円 | ※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 貸倒引当金繰入額 351百万円 役員報酬 22百万円 給料手当 170百万円 賞与引当金繰入額 32百万円 役員賞与引当金繰入額 3百万円 法定福利費 23百万円 租税公課 128百万円 債権回収費用 415百万円 減価償却費 2百万円 賃借料 43百万円 | ※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 貸倒損失 130百万円 貸倒引当金繰入額 1,673百万円 役員報酬 84百万円 給料手当 558百万円 役員賞与引当金繰入額 190百万円 株式報酬費用 120百万円 賞与 113百万円 法定福利費 84百万円 減価償却費 7百万円 賃借料 143百万円 |

(四半期連結株主資本等変動計算書関係)

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当第1四半期連結会計期間末 |
|---------|----------|---------|----|---------------|
| 普通株式(株) | 536,400 | 544,320 | — | 1,080,720 |

(変動事由の概要)

普通株式の発行済株式の第1四半期連結会計期間の増加株式数は、株式分割による新株の発行536,400株及び新株予約権の行使による新株の発行7,920株によるものであります。

2 新株予約権等に関する事項

| 会社名 | 内訳 | 目的となる株式の種類 | 目的となる株式の数(株) | | | | 当第1四半期連結会計期間末残高(百万円) |
|------|---------------------|------------|--------------|----|----|---------------|----------------------|
| | | | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当第1四半期連結会計期間末 | |
| 提出会社 | ストック・オプションとしての新株予約権 | — | — | — | — | — | |

3 配当に関する事項

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 平成18年6月23日 定時株主総会 | 普通株式 | 439 | 820 | 平成18年3月31日 | 平成18年6月26日 |

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当第1四半期連結会計期間末 |
|---------|-----------|-------|----|---------------|
| 普通株式(株) | 1,084,320 | 2,240 | — | 1,086,560 |

(変動事由の概要)

普通株式の発行済株式の第1四半期連結会計期間の増加株式数は、新株予約権の行使によるものであります。

2 新株予約権等に関する事項

| 会社名 | 内訳 | 目的となる株式の種類 | 目的となる株式の数(株) | | | | 当第1四半期連結会計期間末残高(百万円) |
|------|---------------------|------------|--------------|----|----|---------------|----------------------|
| | | | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当第1四半期連結会計期間末 | |
| 提出会社 | ストック・オプションとしての新株予約権 | — | — | — | — | 108 | |

3 配当に関する事項

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-------------------|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 平成19年5月8日 取締役会 | 普通株式 | 433 | 400 | 平成19年3月31日 | 平成19年6月25日 |

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|---------|----------|---------|----|-----------|
| 普通株式(株) | 536,400 | 547,920 | — | 1,084,320 |

(変動事由の概要)

普通株式の発行済株式の当連結会計年度の増加株式数は、株式分割による新株の発行536,400株及び新株予約権の行使による新株の発行11,520株によるものであります。

2 新株予約権等に関する事項

| 会社名 | 内訳 | 目的となる株式の種類 | 目的となる株式の数(株) | | | | 当連結会計年度末残高(百万円) |
|------|---------------------|------------|--------------|----|----|----------|-----------------|
| | | | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 | |
| 提出会社 | ストック・オプションとしての新株予約権 | — | — | — | — | 114 | |

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 平成18年6月23日 定時株主総会 | 普通株式 | 439 | 820 | 平成18年3月31日 | 平成18年6月26日 |
| 平成18年11月6日 取締役会 | 普通株式 | 394 | 365 | 平成18年9月30日 | 平成18年12月11日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-------------------|-------|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 平成19年5月8日 取締役会 | 普通株式 | 利益剰余金 | 433 | 400 | 平成19年3月31日 | 平成19年6月25日 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---------|---------|-----------|----------|---|----------|----------|---------|---------|-----------|----------|--|----------|----------|---------|---------|-----------|----------|
| <p>1 現金及び現金同等物の第1四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>4,031百万円</td> </tr> <tr> <td>引出制限付預金</td> <td>△550百万円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>3,480百万円</td> </tr> </table> <p>※2 「営業活動によるキャッシュ・フロー」における「買取債権回収による収入」及び「買取不動産の買取による支出」には不動産担保付債権の自己競落による回収額39百万円が含まれておりません。</p> | 現金及び預金勘定 | 4,031百万円 | 引出制限付預金 | △550百万円 | 現金及び現金同等物 | 3,480百万円 | <p>1 現金及び現金同等物の第1四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>6,048百万円</td> </tr> <tr> <td>引出制限付預金</td> <td>△296百万円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>5,752百万円</td> </tr> </table> <p>※2 「営業活動によるキャッシュ・フロー」における「買取債権回収による収入」及び「買取不動産の買取による支出」には不動産担保付債権の自己競落による回収額109百万円が含まれておりません。</p> | 現金及び預金勘定 | 6,048百万円 | 引出制限付預金 | △296百万円 | 現金及び現金同等物 | 5,752百万円 | <p>1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>5,750百万円</td> </tr> <tr> <td>引出制限付預金</td> <td>△360百万円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>5,390百万円</td> </tr> </table> <p>※2 「営業活動によるキャッシュ・フロー」における「買取債権回収による収入」及び「買取不動産の買取による支出」には不動産担保付債権の自己競落による回収額221百万円が含まれておりません。</p> | 現金及び預金勘定 | 5,750百万円 | 引出制限付預金 | △360百万円 | 現金及び現金同等物 | 5,390百万円 |
| 現金及び預金勘定 | 4,031百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 引出制限付預金 | △550百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 3,480百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び預金勘定 | 6,048百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 引出制限付預金 | △296百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 5,752百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び預金勘定 | 5,750百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 引出制限付預金 | △360百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 5,390百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(リース取引関係)

| 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|----------------------|----------------------|------|---|---|---|--------|----|----|----|----|----|----|----|---|--|------------------|---------------------|----------------------|------|----|---|----|--------|----|----|----|----|-----|----|----|---|--|------------------|---------------------|------------------|------|----|---|----|--------|----|----|----|----|-----|----|----|
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び第1四半期末残高相当額 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び第1四半期末残高相当額 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 (百万円)</th> <th>減価償却累計額相当額 (百万円)</th> <th>第1四半期末残高相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>80</td> <td>33</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>83</td> <td>34</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | 器具備品 | 3 | 0 | 2 | ソフトウェア | 80 | 33 | 46 | 合計 | 83 | 34 | 48 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 (百万円)</th> <th>減価償却累計額相当額 (百万円)</th> <th>第1四半期末残高相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>83</td> <td>53</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100</td> <td>57</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | 器具備品 | 17 | 4 | 12 | ソフトウェア | 83 | 53 | 29 | 合計 | 100 | 57 | 42 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 (百万円)</th> <th>減価償却累計額相当額 (百万円)</th> <th>期末残高相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>83</td> <td>48</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100</td> <td>51</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 期末残高相当額 (百万円) | 器具備品 | 17 | 3 | 13 | ソフトウェア | 83 | 48 | 34 | 合計 | 100 | 51 | 48 |
| | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 3 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトウェア | 80 | 33 | 46 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 83 | 34 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 17 | 4 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトウェア | 83 | 53 | 29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100 | 57 | 42 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 期末残高相当額 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 17 | 3 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトウェア | 83 | 48 | 34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100 | 51 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 未経過リース料第1四半期末残高相当額等 未経過リース料第1四半期末残高相当額 1年以内 28百万円 1年超 20百万円 合計 49百万円 | ② 未経過リース料第1四半期末残高相当額等 未経過リース料第1四半期末残高相当額 1年以内 24百万円 1年超 18百万円 合計 43百万円 | ② 未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額 1年以内 23百万円 1年超 26百万円 合計 49百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 第1四半期の支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 支払リース料 5百万円 減価償却費相当額 4百万円 支払利息相当額 0百万円 | ③ 第1四半期の支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 支払リース料 6百万円 減価償却費相当額 5百万円 支払利息相当額 0百万円 | ③ 当期の支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 支払リース料 23百万円 減価償却費相当額 22百万円 支払利息相当額 1百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 ・減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。 ・利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期の配分方法については、利息法によっております。 (減損損失について) リース資産に配分された減損損失はありません。 | ④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 ・減価償却費相当額の算定方法 同左 ・利息相当額の算定方法 同左 (減損損失について) 同左 | ④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 ・減価償却費相当額の算定方法 同左 ・利息相当額の算定方法 同左 (減損損失について) 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(有価証券関係)

時価評価されていない主な有価証券

| 区分 | 前第1四半期連結会計期間 (平成18年6月30日) | 第1四半期連結会計期間 (平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (平成19年3月31日) |
|---------------|------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| | 四半期連結貸借対照表計上額 (百万円) | 四半期連結貸借対照表計上額 (百万円) | 連結貸借対照表計上額 (百万円) |
| その他有価証券 | | | |
| 非上場株式 | 45 | 2 | 2 |
| 投資事業有限責任組合出資金 | — | — | 1,671 |
| 優先出資証券 | — | 150 | — |
| 計 | 45 | 152 | 1,674 |

(デリバティブ取引関係)

| 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|--|---|--|
| 取引の状況等に関する事項 当社グループの利用しているデリバティブ取引は全てヘッジ会計を適用しているため、取引の時価等に関する事項の記載を省略しております。 | 同左 | 同左 |

(ストックオプション等関係)

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

1 連結財務諸表への影響額

該当事項ありません。

2 当第1四半期連結会計期間に付与したストック・オプション

該当事項ありません。

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

1 連結財務諸表への影響額

新株予約権戻入益 5百万円

2 当第1四半期連結会計期間に付与したストック・オプション

該当事項ありません。

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

1 連結財務諸表への影響額

株式報酬費用(販管費及び一般管理費) 120百万円

新株予約権戻入益 5百万円

2 当連結会計年度に付与したストック・オプション

| | 新株予約権証券2006A | 新株予約権証券2006B |
|-----------------------|--|---|
| 付与対象者の区分及び人数 | 当社取締役4名 当社執行役員2名 | 当社従業員80名 当社顧問6名 子会社取締役1名 子会社従業員5名 |
| 株式の種類別のストック・オプションの付与数 | 普通株式1,400株 | 普通株式4,530株 |
| 付与日 | 平成18年8月23日 | 平成18年8月23日 |
| 権利確定条件 | ①当社取締役 権利確定日に当社取締役の地位を有していること ②当社執行役員 権利確定日に当社及び当社の子会社の取締役、執行役員、監査役、顧問、従業員の地位を有していること | 権利確定日に当社及び当社の子会社の取締役、執行役員、監査役、顧問、従業員の地位を有していること |
| 対象勤務期間 | 自平成18年8月23日 至平成18年8月31日 | 自平成18年8月23日 至平成18年8月31日 |
| 権利行使期間 | 自平成18年9月1日 至平成23年8月6日 | 自平成18年9月1日 至平成23年8月6日 |
| 権利行使価格(円) | 67,362 | 58,380 |
| 付与日における公正な評価単価(円) | 18,737 | 20,729 |

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

全セグメントの営業収益の合計、営業利益の合計額に占める債権管理回収事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

当第1四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

全セグメントの営業収益の合計、営業利益の合計額に占める債権管理回収事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

全セグメントの営業収益の合計、営業利益の合計額に占める債権管理回収事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|---|---|--|
| 1株当たり純資産額 6,293円22銭 | 1株当たり純資産額 8,399円67銭 | 1株当たり純資産額 7,895円48銭 |
| 1株当たり第1四半期純利益 529円83銭 | 1株当たり第1四半期純利益 915円99銭 | 1株当たり当期純利益 2,509円80銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり 第1四半期純利益 524円97銭 | 潜在株式調整後1株当たり 第1四半期純利益 913円82銭 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 2,493円83銭 |
| <p>提出会社は、平成18年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。</p> <p>なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の1株当たりの情報については、それぞれ以下のとおりとなります。</p> | | <p>提出会社は、平成18年4月1日付で株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。</p> <p>なお、前期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ以下のとおりであります。</p> |
| 前第1四半期連結会計期間 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日) | 前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日) |
| 1株当たり純資産額 4,492円74銭 | 1株当たり純資産額 6,171円30銭 | 1株当たり純資産額 6,171円30銭 |
| 1株当たり第1四半期純利益 180円75銭 | 1株当たり当期純利益 2,180円35銭 | 1株当たり当期純利益 2,180円35銭 |
| 潜在株式調整後 1株当たり第1四半期純利益 175円47銭 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 2,139円19銭 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 2,139円19銭 |

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (平成19年3月31日) |
|---------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 四半期連結(連結)貸借対照表上の純資産の部の合計額 | 6,801百万円 | 10,194百万円 | 9,758百万円 |
| 普通株式に係る純資産額 | 6,801百万円 | 9,126百万円 | 8,561百万円 |
| 差額の主な内訳 | | | |
| 新株予約権 | — | 108百万円 | 114百万円 |
| 少数株主持分 | — | 959百万円 | 1,082百万円 |
| 普通株式の発行済株式総数 | 1,080,720株 | 1,086,560株 | 1,084,320株 |

2 1株当たり第1四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益

| 項目 | 前第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|---|---|---|---|
| 四半期連結(連結)損益計算書上の第1四半期(当期)純利益 | 571百万円 | 993百万円 | 2,711百万円 |
| 普通株式に係る四半期(当期)純利益 | 571百万円 | 993百万円 | 2,711百万円 |
| 普通株主に帰属しない金額の内訳 | | | |
| 利益処分による役員賞与金 | —百万円 | —百万円 | —百万円 |
| 普通株式の期中平均株式数 | 1,077,760株 | 1,085,040株 | 1,080,228株 |
| 潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳 | | | |
| 新株予約権 | 9,984株 | 2,570株 | 6,916株 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第1四半期(当期)純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 | — | 平成17年6月21日付特別決議新株予約権 575個 平成18年8月7日付取締役会決議新株予約権 1,400個 平成18年8月7日付取締役会決議新株予約権 3,970個 | 平成17年6月21日付特別決議新株予約権 585個 平成18年8月7日付取締役会決議新株予約権 1,400個 平成18年8月7日付取締役会決議新株予約権 4,250個 |

(重要な後発事象)

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

1 提出会社は、平成18年8月7日開催の取締役会決議により、提出会社執行役員の業績向上に対する意欲や士気を一層高めることにより、提出会社業績と株主価値の向上を図ることを目的とするストック・オプションとして、次のとおり新株予約権の発行を行います。

- | | |
|---------------|--|
| (1) 割当対象者 | 提出会社執行役員 |
| (2) 新株予約権の発行日 | 平成18年8月23日 |
| (3) 株式の種類 | 普通株式 |
| (4) 株式の数 | 400株 |
| (5) 行使時の払込金額 | 新株予約権の割当日の属する月の前月の各日の東京証券取引所における提出会社普通株式の終値の平均値に1.5を乗じた金額(1円未満の端数は切り上げる)に新株予約権1個当たりの目的たる株式の数を乗じた金額とする。 |
| (6) 行使期間 | 平成18年9月1日～平成23年8月6日 |

2 提出会社は、平成18年8月7日開催の取締役会決議により、提出会社従業員及び提出会社子会社取締役、従業員の業績向上に対する意欲や士気を一層高めることにより、提出会社業績と株主価値の向上を図ることを目的とするストック・オプションとして、次のとおり新株予約権の発行を行います。

- | | |
|---------------|--|
| (1) 割当対象者 | 提出会社従業員、提出会社子会社取締役、 提出会社子会社従業員 |
| (2) 新株予約権の発行日 | 平成18年8月23日 |
| (3) 株式の種類 | 普通株式 |
| (4) 株式の数 | 4,530株 |
| (5) 行使時の払込金額 | 新株予約権の割当日の属する月の前月の各日の東京証券取引所における提出会社普通株式の終値の平均値に1.3を乗じた金額(1円未満の端数は切り上げる)に新株予約権1個当たりの目的たる株式の数を乗じた金額とする。 |
| (6) 行使期間 | 平成18年9月1日～平成23年8月6日 |

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

該当事項はありません。

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

該当事項はありません。

5 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日) | | 当第1四半期会計期間末 (平成19年6月30日) | | 前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日) | | |
|---------------|----------|-----------------------------|------------|-----------------------------|------------|-----------------------------------|------------|--|
| | | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | |
| (資産の部) | | | | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | | | | |
| 1 現金及び預金 | ※2 | 3,286 | | 3,269 | | 4,472 | | |
| 2 買取債権 | ※2 | 20,653 | | 23,545 | | 23,023 | | |
| 3 買取不動産 | | 151 | | 9 | | 17 | | |
| 4 関係会社短期貸付金 | | 918 | | — | | — | | |
| 5 繰延税金資産 | | 551 | | 961 | | 827 | | |
| 6 その他 | | 472 | | 708 | | 837 | | |
| 貸倒引当金 | | △1,788 | | △2,916 | | △2,625 | | |
| 流動資産合計 | | 24,246 | 65.1 | 25,577 | 51.3 | 26,553 | 48.1 | |
| II 固定資産 | | | | | | | | |
| 1 有形固定資産 | ※1 | 29 | | 31 | | 30 | | |
| 2 無形固定資産 | | 7 | | 5 | | 6 | | |
| 3 投資その他の資産 | | | | | | | | |
| (1) 関係会社長期貸付金 | | 12,449 | | 23,960 | | 28,392 | | |
| (2) その他 | | 517 | | 270 | | 274 | | |
| 投資その他の資産合計 | | 12,966 | | 24,230 | | 28,667 | | |
| 固定資産合計 | | 13,004 | 34.9 | 24,268 | 48.7 | 28,704 | 51.9 | |
| 資産合計 | | 37,250 | 100.0 | 49,845 | 100.0 | 55,257 | 100.0 | |

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日) | | 当第1四半期会計期間末 (平成19年6月30日) | | 前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日) | | |
|---------|----------|-----------------------------|------------|-----------------------------|------------|-----------------------------------|------------|--|
| | | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | |
| (負債の部) | | | | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | | | | |
| 1 | ※2 | 9,472 | | 11,264 | | 14,171 | | |
| 2 | ※2 | 9,767 | | 13,413 | | 13,412 | | |
| 3 | | 60 | | 160 | | 160 | | |
| 4 | | 266 | | 396 | | 731 | | |
| 5 | | 23 | | 30 | | — | | |
| 6 | | 2 | | 3 | | 19 | | |
| 7 | | 346 | | 394 | | 503 | | |
| | | 19,938 | 53.6 | 25,664 | 51.5 | 28,998 | 52.5 | |
| II 固定負債 | | | | | | | | |
| 1 | | 90 | | 380 | | 380 | | |
| 2 | ※2 | 11,771 | | 17,900 | | 19,913 | | |
| 3 | | 0 | | 0 | | 1 | | |
| | | 11,861 | 31.8 | 18,281 | 36.7 | 20,294 | 36.7 | |
| | | 31,800 | 85.4 | 43,945 | 88.2 | 49,292 | 89.2 | |

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日) | | 当第1四半期会計期間末 (平成19年6月30日) | | 前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日) | | |
|--------------|----------|-----------------------------|------------|-----------------------------|------------|-----------------------------------|------------|--|
| | | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | |
| (純資産の部) | | | | | | | | |
| I 株主資本 | | | | | | | | |
| 1 資本金 | | 1,719 | 4.6 | 1,733 | 3.5 | 1,731 | 3.1 | |
| 2 資本剰余金 | | | | | | | | |
| (1) 資本準備金 | | 1,506 | | 1,519 | | 1,517 | | |
| 資本剰余金合計 | | 1,506 | 4.0 | 1,519 | 3.0 | 1,517 | 2.8 | |
| 3 利益剰余金 | | | | | | | | |
| (1) 利益準備金 | | 2 | | 2 | | 2 | | |
| (2) その他利益剰余金 | | | | | | | | |
| 別途積立金 | | 1,500 | | 1,500 | | 1,500 | | |
| 繰越利益剰余金 | | 721 | | 1,036 | | 1,101 | | |
| 利益剰余金合計 | | 2,223 | 6.0 | 2,538 | 5.1 | 2,603 | 4.7 | |
| 株主資本合計 | | 5,449 | 14.6 | 5,792 | 11.6 | 5,851 | 10.6 | |
| II 評価・換算差額等 | | | | | | | | |
| 1 繰延ヘッジ損益 | | △0 | | △0 | | △0 | | |
| 評価・換算差額等合計 | | △0 | △0.0 | △0 | △0.0 | △0 | △0.0 | |
| III 新株予約権 | | — | — | 108 | 0.2 | 114 | 0.2 | |
| 純資産合計 | | 5,449 | 14.6 | 5,900 | 11.8 | 5,965 | 10.8 | |
| 負債及び純資産合計 | | 37,250 | 100.0 | 49,845 | 100.0 | 55,257 | 100.0 | |

(2) 四半期損益計算書

| 区分 | 注記 番号 | 前第1四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | | | 当第1四半期会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | | | 前事業年度の 要約損益計算書 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) | | |
|---------------------|----------|---|-------|------------|---|-------|------------|--|--------|------------|
| | | 金額(百万円) | | 百分比 (%) | 金額(百万円) | | 百分比 (%) | 金額(百万円) | | 百分比 (%) |
| I 営業収益 | | | | | | | | | | |
| 1 買取債権回収高 | | 2,873 | | | 3,165 | | | 11,672 | | |
| 2 その他 | | 57 | 2,930 | 100.0 | 67 | 3,233 | 100.0 | 352 | 12,025 | 100.0 |
| II 営業費用 | | | | | | | | | | |
| 1 債権回収原価 | | 1,553 | | | 1,807 | | | 6,882 | | |
| 2 その他原価 | | 0 | 1,553 | 53.0 | 8 | 1,815 | 56.2 | 153 | 7,035 | 58.5 |
| 営業総利益 | | | 1,376 | 47.0 | | 1,417 | 43.8 | | 4,989 | 41.5 |
| III 販売費及び一般管理費 | ※1 | | 585 | 20.0 | | 789 | 24.4 | | 3,620 | 30.1 |
| 営業利益 | | | 791 | 27.0 | | 627 | 19.4 | | 1,368 | 11.4 |
| IV 営業外収益 | | | | | | | | | | |
| 1 受取利息 | | 124 | | | 285 | | | 882 | | |
| 2 匿名組合出資収益 | | 57 | | | 1 | | | 809 | | |
| 3 その他 | | 2 | 184 | 6.3 | 1 | 288 | 8.9 | 7 | 1,699 | 14.1 |
| V 営業外費用 | | | | | | | | | | |
| 1 支払利息 | | 132 | | | 291 | | | 811 | | |
| 2 社債利息 | | 0 | | | 1 | | | 4 | | |
| 3 その他 | | 7 | 140 | 4.8 | 0 | 294 | 9.1 | 43 | 859 | 7.1 |
| 経常利益 | | | 835 | 28.5 | | 622 | 19.2 | | 2,208 | 18.4 |
| VI 特別利益 | | | | | | | | | | |
| 1 新株予約権戻入益 | | — | — | — | 5 | 5 | 0.2 | 5 | 5 | 0.0 |
| VII 特別損失 | | | | | | | | | | |
| 1 固定資産除却損 | | — | | | — | | | 2 | | |
| 2 投資有価証券評価損 | | — | — | — | — | — | — | 44 | 47 | 0.4 |
| 税引前第1四半期 (当期)純利益 | | | 835 | 28.5 | | 627 | 19.4 | | 2,166 | 18.0 |
| 法人税、住民税 及び事業税 | | 258 | | | 391 | | | 1,157 | | |
| 法人税等調整額 | | 84 | 342 | 11.7 | △132 | 258 | 8.0 | △256 | 900 | 7.5 |
| 第1四半期(当期) 純利益 | | | 492 | 16.8 | | 369 | 11.4 | | 1,266 | 10.5 |

(3) 四半期株主資本等変動計算書

前第1四半期会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

| | 株主資本 | | | | | | | 評価・換算 差額等 | 純資産 合計 | |
|--|-------|-------|-------------|-------|-------------------|-------------|------------|--------------|-----------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | | 株主資本 合計 | | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 別途積立金 | 繰越利益 剰余金 | | 利益剰余金 合計 | | 繰延ヘッジ 損益 |
| 平成18年3月31日 残高(百万円) | 1,695 | 1,481 | 1,481 | 2 | 1,000 | 1,197 | 2,199 | 5,376 | — | 5,376 |
| 第1四半期会計期間 中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 新株の発行(新株 予約権の行使) | 24 | 24 | 24 | — | — | — | — | 49 | — | 49 |
| 剰余金の配当(注) | — | — | — | — | — | △439 | △439 | △439 | — | △439 |
| 役員賞与(注) | — | — | — | — | — | △28 | △28 | △28 | — | △28 |
| 別途積立金の積立 (注) | — | — | — | — | 500 | △500 | — | — | — | — |
| 第1四半期純利益 | — | — | — | — | — | 492 | 492 | 492 | — | 492 |
| 株主資本以外の項 目の第1四半期会 計期間中の変動額 (純額) | — | — | — | — | — | — | — | — | △0 | △0 |
| 第1四半期会計期間 中の変動額合計 (百万円) | 24 | 24 | 24 | — | 500 | △475 | 24 | 73 | △0 | 73 |
| 平成18年6月30日 残高(百万円) | 1,719 | 1,506 | 1,506 | 2 | 1,500 | 721 | 2,223 | 5,449 | △0 | 5,449 |

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

当第1四半期会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

| | 株主資本 | | | | | |
|----------------------------------|-------|-------|-------------|-------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | 1,731 | 1,517 | 1,517 | 2 | 1,500 | 1,101 |
| 第1四半期会計期間中の変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | 2 | 2 | 2 | — | — | — |
| 剰余金の配当 | — | — | — | — | — | △433 |
| 第1四半期純利益 | — | — | — | — | — | 369 |
| 株主資本以外の項目の第1四半 期会計期間中の変動額(純額) | — | — | — | — | — | — |
| 第1四半期会計期間中の変動額 合計(百万円) | 2 | 2 | 2 | — | — | △64 |
| 平成19年6月30日残高(百万円) | 1,733 | 1,519 | 1,519 | 2 | 1,500 | 1,036 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|----------------------------------|--------------|--------|-------------|----------------|-------|-------|
| | 利益剰余金 | 株主資本合計 | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| | その他利益 剰余金 | | | | | |
| | 利益剰余金 合計 | | | | | |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | 2,603 | 5,851 | △0 | △0 | 114 | 5,965 |
| 第1四半期会計期間中の変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | — | 5 | — | — | — | 5 |
| 剰余金の配当 | △433 | △433 | — | — | — | △433 |
| 第1四半期純利益 | 369 | 369 | — | — | — | 369 |
| 株主資本以外の項目の第1四半 期会計期間中の変動額(純額) | — | — | 0 | 0 | △5 | △5 |
| 第1四半期会計期間中の変動額 合計(百万円) | △64 | △59 | 0 | 0 | △5 | △64 |
| 平成19年6月30日残高(百万円) | 2,538 | 5,792 | △0 | △0 | 108 | 5,900 |

前事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

| | 株主資本 | | | | | |
|-----------------------------|-------|-------|-------------|-------|----------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 |
| 平成18年3月31日残高(百万円) | 1,695 | 1,481 | 1,481 | 2 | 1,000 | 1,197 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | 36 | 36 | 36 | — | — | — |
| 剰余金の配当(注) | — | — | — | — | — | △439 |
| 剰余金の配当(中間配当) | — | — | — | — | — | △394 |
| 役員賞与(注) | — | — | — | — | — | △28 |
| 別途積立金の積立(注) | — | — | — | — | 500 | △500 |
| 当期純利益 | — | — | — | — | — | 1,266 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額) | — | — | — | — | — | — |
| 事業年度中の変動額合計(百万円) | 36 | 36 | 36 | — | 500 | △96 |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | 1,731 | 1,517 | 1,517 | 2 | 1,500 | 1,101 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-----------------------------|--------------|--------|-------------|----------------|-------|-------|
| | 利益剰余金 | 株主資本合計 | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| | その他利益 剰余金 | | | | | |
| | 利益剰余金 合計 | | | | | |
| 平成18年3月31日残高(百万円) | 2,199 | 5,376 | — | — | — | 5,376 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 (新株予約権の行使) | — | 72 | — | — | — | 72 |
| 剰余金の配当(注) | △439 | △439 | — | — | — | △439 |
| 剰余金の配当(中間配当) | △394 | △394 | — | — | — | △394 |
| 役員賞与(注) | △28 | △28 | — | — | — | △28 |
| 別途積立金の積立(注) | — | — | — | — | — | — |
| 当期純利益 | 1,266 | 1,266 | — | — | — | 1,266 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額) | — | — | △0 | △0 | 114 | 113 |
| 事業年度中の変動額合計(百万円) | 403 | 475 | △0 | △0 | 114 | 589 |
| 平成19年3月31日残高(百万円) | 2,603 | 5,851 | △0 | △0 | 114 | 5,965 |

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(4) 注記事項

四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項

| 項目 | 前第1四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|-----------------|---|--|--|
| 1 資産の評価基準及び評価方法 | <p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法によっております。</p> <p>その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。</p> <p>(2) デリバティブ 時価法</p> | <p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 同左</p> <p>その他有価証券 時価のないもの 同左</p> <p>(2) デリバティブ 同左</p> | <p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 同左</p> <p>その他有価証券 時価のないもの 同左</p> <p>(2) デリバティブ 同左</p> |
| 2 固定資産の減価償却の方法 | <p>(1) 有形固定資産 定率法によっております。ただし建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) 長期前払費用 均等償却によっております。</p> | <p>(1) 有形固定資産 定率法によっております。ただし建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております。</p> <p>(会計処理の変更) 当第1四半期会計期間から、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降取得の有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。</p> <p>なお、この変更による営業利益、経常利益、税引前第1四半期純利益に与える影響は軽微であります。</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p> | <p>(1) 有形固定資産 定率法によっております。ただし建物(建物附属設備は除く)については定額法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 長期前払費用 同左</p> |
| 3 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(3) 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(会計処理の変更) 従来、役員賞与については、株主総会の利益処分に係る決議を経て、未処分利益の減少として処理しておりましたが、当第1四半期会計期間より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成17年11月29日企業会計基準第4号)に基づき、発生した会計期間の費用として処理する方法に変更しております。</p> <p>この変更により、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、経常利益及び税引前第1四半期純利益は、それぞれ2百万円減少しております。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(3) 役員賞与引当金 役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(会計処理の変更) 従来、役員賞与については、株主総会の利益処分に係る決議を経て、未処分利益の減少として処理しておりましたが、当事業年度より、「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成17年11月29日企業会計基準第4号)に基づき、発生した会計期間の費用として処理する方法に変更しております。</p> <p>この変更により、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益は、それぞれ19百万円減少しております。</p> |

| 項目 | 前第1四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) | 前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) |
|------------------------------------|---|--|--|
| 4 収益及び費用の計上基準 | 買取債権回収高及び債権回収原価の計上基準 買取債権回収高は、回収時に回収金額を計上しております。また、債権回収原価については、将来のキャッシュ・フローを見積もることが可能な債権を償却原価法によって算定し、見積もることが困難な債権を回収原価法によって算定しております。 | 買取債権回収高及び債権回収原価の計上基準 同左 | 買取債権回収高及び債権回収原価の計上基準 同左 |
| 5 リース取引の処理方法 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 | 同左 | 同左 |
| 6 ヘッジ会計の方法 | (1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。 (2) ヘッジ手段と対象 ・ヘッジ手段 デリバティブ取引(金利スワップ取引) ・ヘッジ対象 市場金利等の変動によりキャッシュ・フローが変動するもの(変動金利の借入金) (3) ヘッジ方針 資金調達における金利の急激な変動が損益及びキャッシュ・フローに与える影響をヘッジすることを目的としております。 (4) ヘッジ有効性の評価方法 ヘッジ手段の指標金利とヘッジ対象の指標金利との変動幅等について、一定の相関性を判定することにより評価しております。 | (1) ヘッジ会計の方法 同左 (2) ヘッジ手段と対象 ・ヘッジ手段 同左 ・ヘッジ対象 同左 (3) ヘッジ方針 同左 (4) ヘッジ有効性の評価方法 同左 | (1) ヘッジ会計の方法 同左 (2) ヘッジ手段と対象 ・ヘッジ手段 同左 ・ヘッジ対象 同左 (3) ヘッジ方針 同左 (4) ヘッジ有効性の評価方法 同左 |
| 7 その他四半期財務諸表(財務諸表)作成のための基本となる重要な事項 | (1) 買取不動産の評価基準及び評価方法 買取債権の自己競落又は、債権管理回収業の一環として取得した買取不動産については、個別法による原価法によっております。 なお、買取債権の自己競落により買取不動産を取得した際に発生する買取債権回収差益については、買取不動産売却時まで繰延処理しております。 (2) 消費税等の会計処理 税抜方式を採用しております。 なお、控除対象外消費税等は全額当第1四半期会計期間の費用として処理しております。 | (1) 買取不動産の評価基準及び評価方法 同左 (2) 消費税等の会計処理 同左 | (1) 買取不動産の評価基準及び評価方法 同左 (2) 消費税等の会計処理 税抜方式を採用しております。 なお、控除対象外消費税等は全額当期の費用として処理しております。 |

(会計処理の変更)

| 前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | 前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) |
|---|---|---|
| <p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)</p> <p>当第1四半期会計期間より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。</p> <p>なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は、5,449百万円であります。</p> <p>また、中間財務諸表等規則の改正により、当第1四半期会計期間における四半期貸借対照表の純資産の部については、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。</p> | <p>—————</p> <p>—————</p> | <p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等)</p> <p>当事業年度より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は、5,851百万円であります。</p> <p>また、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の純資産の部については、改正後の財務諸表等規則により作成しております。</p> <p>(ストック・オプション等に関する会計基準等)</p> <p>当事業年度より「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準第8号)及び「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 最終改正平成18年5月31日 企業会計基準適用指針第11号)を適用しております。</p> <p>これにより、営業利益及び経常利益は120百万円、税引前当期純利益は114百万円減少しております。</p> |

(表示方法の変更)

| 前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) |
|---|--|
| <p>(四半期貸借対照表関係)</p> <p>前第1四半期会計期間まで、流動資産その他に含めておりました「関係会社短期貸付金」については、資産総額の100分の5超となったため、当第1四半期会計期間より区分掲記することに変更しております。</p> <p>なお、前第1四半期会計期間の流動資産その他に含めておりました「関係会社短期貸付金」は、373百万円であります。</p> | <p>当社の財務諸表に掲記される科目その他の事項は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期会計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。</p> <p>なお、比較を容易にするため、前第1四半期会計期間についても百万円単位に組替え表示しております。</p> |

(四半期貸借対照表関係)

| 前第1四半期会計期間末 (平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間末 (平成19年6月30日) | 前事業年度末 (平成19年3月31日) |
|---|--|--|
| ※1 有形固定資産の減価償却累計額 13百万円 | ※1 有形固定資産の減価償却累計額 18百万円 | ※1 有形固定資産の減価償却累計額 17百万円 |
| ※2 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 担保に供している資産 現金及び預金 550百万円 買取債権 366百万円 合計 916百万円 上記に対応する債務 1年内返済予定 1,556百万円 長期借入金 2,087百万円 合計 3,643百万円 | ※2 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 担保に供している資産 現金及び預金 296百万円 上記に対応する債務 短期借入金 500百万円 1年内返済 1,197百万円 予定長期借入金 6,608百万円 長期借入金 8,306百万円 合計 8,306百万円 なお、上記以外に子会社の買取不動産5,978百万円を担保に供しております。 | ※2 担保に供している資産及びこれに対応する債務は次のとおりであります。 担保に供している資産 現金及び預金 360百万円 上記に対応する債務 短期借入金 500百万円 1年内返済 1,125百万円 予定長期借入金 7,502百万円 長期借入金 9,128百万円 合計 9,128百万円 なお、上記以外に子会社の買取不動産5,967百万円を担保に供しております。 |
| 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行及び親会社(株)ニッシンと当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく当第1四半期会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越契約及び貸出コミットメントの 12,800百万円 総額 借入実行金額 △9,720百万円 差引額 3,080百万円 | 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行及び親会社N I Sグループ(株)と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく当第1四半期会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越契約及び貸出コミットメントの 15,100百万円 総額 借入実行金額 △8,500百万円 差引額 6,600百万円 | 3 当座貸越契約及び貸出コミットメント 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行1行及び親会社N I Sグループ(株)と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。 当座貸越契約及び貸出コミットメントの 15,900百万円 総額 借入実行金額 △11,650百万円 差引額 4,250百万円 |

(四半期損益計算書関係)

| 前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | 前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) |
|--|--|--|
| ※1 減価償却実施額 有形固定資産 1百万円 無形固定資産 0百万円 | ※1 減価償却実施額 有形固定資産 1百万円 無形固定資産 0百万円 | ※1 減価償却実施額 有形固定資産 5百万円 無形固定資産 2百万円 |

(第1四半期株主資本等変動計算書関係)

前第1四半期会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

- 自己株式に関する事項
該当事項はありません。

当第1四半期会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

- 自己株式に関する事項
該当事項はありません。

前事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

- 自己株式に関する事項
該当事項はありません。

(リース取引関係)

| 前第1四半期会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日) | 当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) | 前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|----------------------|----------------------|------|---|---|---|--------|----|----|----|----|----|----|----|---|--|------------------|---------------------|----------------------|------|----|---|----|--------|----|----|----|----|-----|----|----|---|--|------------------|---------------------|------------------|------|----|---|----|--------|----|----|----|----|-----|----|----|
| リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び第1四半期末残高相当額 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び第1四半期末残高相当額 | リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 ① リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び期末残高相当額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 (百万円)</th> <th>減価償却累計額相当額 (百万円)</th> <th>第1四半期末残高相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>80</td> <td>33</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>83</td> <td>34</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | 器具備品 | 3 | 0 | 2 | ソフトウェア | 80 | 33 | 46 | 合計 | 83 | 34 | 48 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 (百万円)</th> <th>減価償却累計額相当額 (百万円)</th> <th>第1四半期末残高相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>83</td> <td>53</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100</td> <td>57</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | 器具備品 | 17 | 4 | 12 | ソフトウェア | 83 | 53 | 29 | 合計 | 100 | 57 | 42 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得価額相当額 (百万円)</th> <th>減価償却累計額相当額 (百万円)</th> <th>期末残高相当額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>器具備品</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェア</td> <td>83</td> <td>48</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100</td> <td>51</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> | | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 期末残高相当額 (百万円) | 器具備品 | 17 | 3 | 13 | ソフトウェア | 83 | 48 | 34 | 合計 | 100 | 51 | 48 |
| | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 3 | 0 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトウェア | 80 | 33 | 46 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 83 | 34 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 第1四半期末残高相当額 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 17 | 4 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトウェア | 83 | 53 | 29 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100 | 57 | 42 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 取得価額相当額 (百万円) | 減価償却累計額相当額 (百万円) | 期末残高相当額 (百万円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 17 | 3 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトウェア | 83 | 48 | 34 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 100 | 51 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 未経過リース料第1四半期末残高相当額等 未経過リース料第1四半期末残高相当額 1年以内 28百万円 1年超 20百万円 合計 49百万円 | ② 未経過リース料第1四半期末残高相当額等 未経過リース料第1四半期末残高相当額 1年以内 24百万円 1年超 18百万円 合計 43百万円 | ② 未経過リース料期末残高相当額等 未経過リース料期末残高相当額 1年以内 23百万円 1年超 26百万円 合計 49百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 第1四半期の支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 支払リース料 5百万円 減価償却費相当額 4百万円 支払利息相当額 0百万円 | ③ 第1四半期の支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 支払リース料 6百万円 減価償却費相当額 5百万円 支払利息相当額 0百万円 | ③ 当期の支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失 支払リース料 23百万円 減価償却費相当額 22百万円 支払利息相当額 1百万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 ・減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。 ・利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期の配分方法については、利息法によっております。 (減損損失について) リース資産に配分された減損損失はありません。 | ④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 ・減価償却費相当額の算定方法 同左 ・利息相当額の算定方法 同左 (減損損失について) 同左 | ④ 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法 ・減価償却費相当額の算定方法 同左 ・利息相当額の算定方法 同左 (減損損失について) 同左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(有価証券関係)

前第1四半期会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

当第1四半期会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(1株当たり情報)

四半期連結財務諸表を作成しているため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

前第1四半期会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

1 当社は、平成18年8月7日開催の取締役会決議により、当社執行役員の業績向上に対する意欲や士気を一層高めることにより、会社業績と株主価値の向上を図ることを目的とするストックオプションとして、次のとおり新株予約権の発行を行います。

- | | |
|---------------|--|
| (1) 割当対象者 | 当社執行役員 |
| (2) 新株予約権の発行日 | 平成18年8月23日 |
| (3) 株式の種類 | 普通株式 |
| (4) 株式の数 | 400株 |
| (5) 行使時の払込金額 | 新株予約権の割当日の属する月の前月の各日の東京証券取引所における当社普通株式の終値の平均値に1.5を乗じた金額(1円未満の端数は切り上げる)に新株予約権1個当たりの目的たる株式の数を乗じた金額とする。 |
| (6) 行使期間 | 平成18年9月1日～平成23年8月6日 |

2 当社は、平成18年8月7日開催の取締役会決議により、当社従業員及び当社子会社取締役、従業員の業績向上に対する意欲や士気を一層高めることにより、会社業績と株主価値の向上を図ることを目的とするストックオプションとして、次のとおり新株予約権の発行を行います。

- | | |
|---------------|--|
| (1) 割当対象者 | 当社従業員、当社子会社取締役、 当社子会社従業員 |
| (2) 新株予約権の発行日 | 平成18年8月23日 |
| (3) 株式の種類 | 普通株式 |
| (4) 株式の数 | 4,530株 |
| (5) 行使時の払込金額 | 新株予約権の割当日の属する月の前月の各日の東京証券取引所における当社普通株式の終値の平均値に1.3を乗じた金額(1円未満の端数は切り上げる)に新株予約権1個当たりの目的たる株式の数を乗じた金額とする。 |
| (6) 行使期間 | 平成18年9月1日～平成23年8月6日 |

当第1四半期会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

該当事項はありません。

前事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

該当事項はありません。